

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場会社名 株式会社 ディースリー  
 コード番号 4311 URL <http://www.d3i.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 小嶋 正樹  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 JQ

TEL 03-5428-8830

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,889	—	△1,093	—	△867	—	△858	—
20年3月期第1四半期	2,174	21.4	37	37.1	122	—	△129	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△40,876.23	—
20年3月期第1四半期	△6,151.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	11,498	—	3,330	—	28.5	156,023.85	—	
20年3月期	13,519	—	4,206	—	30.8	198,220.41	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,277百万円 20年3月期 4,163百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2,800.00	2,800.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,600.00	2,600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	4,846	21.9	△777	—	△809	—	△1,024	—	△48,785.33	
通期	15,382	7.7	1,206	12.8	1,155	179.0	550	87.7	26,185.87	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
  - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
  - ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 21,037株	20年3月期 21,037株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 32株	20年3月期 32株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 21,005株	20年3月期第1四半期 20,974株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（当四半期、以下同じ。）におけるわが国経済は、原油価格高騰に伴い原材料の価格上昇が続くなか、景気の減速感が広がり、個人消費は低迷した状態が続いております。米国ではサブプライム住宅ローン問題を発端とした金融市場の混乱を背景に景気は弱含みの状態が続いており、欧州につきましても緩やかながらも景気減速感が強まってきております。

このような状況の下、当社グループは、コンシューマ事業及びモバイル事業の両分野において、各種家庭用ゲーム機及び携帯電話端末が持つ様々な特徴やライトゲームユーザーからコアゲームユーザーまでの異なる嗜好に対応すべく多種多様な商品・サービスを提供し、既存のゲームユーザーの満足度の向上を図るとともに、潜在的なゲームユーザーを掘り起こし獲得するため、事業間シナジーの創出に注力し、コンテンツのマルチ展開及びグローバル展開を進めてまいりました。

この結果、当四半期の連結業績は、売上高1,889,089千円（前年同期比13.1%減）、営業損失1,093,086千円（前年同期は営業利益37,472千円）、経常損失867,263千円（前年同期は経常利益122,650千円）、四半期純損失858,605千円（前年同期は四半期純損失129,024千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [コンシューマ事業]

国内では、低価格ゲームソフト「SIMPLEシリーズ」5タイトルを発売するとともに、フルプライスゲームソフトとして、『CR新世紀エヴァンゲリオン～使徒、再び～』を発売いたしました。

海外では、新規発売タイトルはなかったものの、前期に発売した「NARUTO」シリーズや『BEN 10～PROTECTOR OF EARTH～』の売上が好調に推移し、特に『BEN 10～PROTECTOR OF EARTH～』につきましては、当四半期において欧米市場で50万本を超える出荷を記録し、発売以来の累計では150万本を超える出荷実績となりました。

また、前期に発売した『darkSector』につきましては、海外大手ゲームメーカーより発売された競合タイトルの影響を受け、当四半期における販売が伸び悩み、プライス・プロテクション（注）の実施見込み額の計上等を行いました。

この結果、当四半期におけるコンシューマゲームソフトの出荷実績は95万本（新作及び旧作の合計）となり売上高1,605,592千円（前年同期比18.7%減）、営業損失1,220,969千円（前年同期は営業損失34,779千円）となりました。

（注）プライス・プロテクションとは、小売価格の値下げ実施による販売支援費用で売上高より控除して計上しております。

#### [モバイル事業]

低価格ゲームコンテンツ「SIMPLE100シリーズ」（月額課金制）では、オリンピックに合わせてスポーツ系のタイトルを投入するなど、継続的にコンテンツの充実を図ってまいりました。

リッチゲームコンテンツ「SIMPLEシリーズ DX」（ダウンロード課金制）につきましても新規コンテンツの配信によるラインナップの充実の結果、好調なダウンロード数を獲得いたしました。

また、女性向けに新たに「危険なマイ★アイドル」（月額課金制）の配信を開始するなど新規顧客獲得のための施策も積極的に展開いたしました。

この結果、売上高283,497千円（前年同期比42.1%増）、営業利益201,936千円（同43.3%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [日本]

コンシューマ事業におきましては、低価格ゲームソフト「SIMPLEシリーズ」を5タイトル発売するとともに、フルプライスゲームソフトでは、『CR新世紀エヴァンゲリオン～使徒、再び～』が14万本を超える出荷を記録するなどにより、当四半期における出荷実績は22万本となりました。

モバイル事業におきましては、無料ゲーム市場の拡大等によって競争がより一層激化する中であって「SIMPLE100シリーズ」の当四半期末時点での会員数は、3キャリア合計で117万人となりました。

この結果、売上高1,324,880千円（同7.1%増）となりましたが、コンシューマ事業における前期発売タイトルの償却費の計上等により営業損失128,683千円（前年同期は営業利益320,713千円）となりました。

#### [北米]

前期に発売した「NARUTO」シリーズ、『BEN 10～PROTECTOR OF EARTH～』のリピーター販売は好調に推移しましたが、『darkSector』につきましては、競合他社の大型タイトルの影響等により、プライス・プロテクションの追加計上等を行いました。

また、北米での新規タイトルの発売はなく、当四半期における出荷実績は50万本となりました。

この結果、売上高694,988千円（前年同期比21.9%減）、営業損失725,583千円（前年同期は営業損失165,333千円）となりました。

#### [欧州]

前期に発売した『BEN 10～PROTECTOR OF EARTH～』のリピーター販売は欧州においても好調に推移しましたが、『darkSector』につきましては、北米同様、競合他社の大型タイトルの影響等により、プライス・プロテクションの追加計上等を行いました。

また、欧州での新規タイトルの発売はなく、日本及び北米から供給されたゲームソフトの販売により、当四半期における出荷実績は21万本となりました。

この結果、売上高261,651千円（前年同期比203.4%増）、営業損失119,715千円（前年同期は営業損失61,755千円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末における総資産額の合計は11,498,390千円となり、前連結会計年度末に比べ2,021,150千円の減少となりました。その主な要因は、仕掛品が443,934千円増加したものの、売掛金が2,555,962千円、コンテンツが606,926千円減少したことなどによります。

当四半期末における負債額の合計は8,167,861千円となり、前連結会計年度末に比べ1,144,973千円の減少となりました。その主な要因は、未払金が263,558千円、買掛金が187,056千円、未払法人税等が644,201千円減少したことなどによります。

当四半期末における純資産額の合計は3,330,528千円となり、前連結会計年度末に比べ876,176千円の減少となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定が31,080千円増加したものの、利益剰余金が917,419千円減少したことなどによります。

これらにより、自己資本比率は28.5%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は3,348,114千円となり、前連結会計年度末に比べ234,916千円の増加となりました。

当四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は、306,607千円（前年同期は819,811千円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失866,653千円、法人税等の支払額894,214千円、為替差益230,400千円、仕入債務の減少227,943千円、未払金の減少273,528千円等がありました。売上債権の減少2,691,168千円等があったことによるものであります。

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果使用した資金は、79,019千円（前年同期比74.3%減）となりました。これは、過年度に取得した連結子会社株式の未払額の支払いによる支出36,464千円、貸付けによる支出22,000千円、有形固定資産の取得による支出12,529千円等があったことによるものであります。

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果使用した資金は、119,267千円（前年同期は126,490千円の獲得）となりました。これは、短期借入金の純増額99,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出166,000千円、配当金の支払額51,528千円等があったことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

コンシューマ事業で一部の前期発売タイトルによる利益の減少要因等がありましたが、『BEN 10～PROTECTOR OF EARTH～』の販売が好調で、モバイル事業も順調に推移し、全体としましては概ね予想の範囲で進捗しております。

なお、当期発売タイトルにつきましては、下期に主要タイトルの発売を計画しており、平成20年5月8日付当社「平成20年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）からの変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 簡便な会計処理

###### ①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### ②四半期連結財務諸表における未実現利益消去に係る税効果

期首から四半期会計期間末までの連結会社間での取引により生じた未実現利益を四半期連結の手続上で消去するにあたって、当該未実現利益額が、売却元の年間見積課税所得額（税引前四半期純利益に年間見積実効税率を乗じて計算する方法による場合は、予想年間税引前当期純利益）を上回っている場合には、連結消去に係る一時差異の金額は、当該年間見積課税所得額を限度としております。

###### ③連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去における簡便的な会計処理

連結会社相互間の債権と債務を相殺消去するにあたり、当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で、当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引を相殺消去するにあたり、取引金額に差異がある場合で、当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去をしております。

###### ④未実現損益の消去における簡便的な会計処理

連結会社相互間の取引によって取得した棚卸資産に含まれる四半期連結会計期間末における未実現損益の消去にあたっては、前連結会計年度から取引状況に大きな変化がないと認められる場合には、前連結会計年度で使用した損益率を使用してしております。

###### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

###### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### 1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### 2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

###### 3. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,505,438	3,260,688
売掛金	1,559,564	4,115,527
製品	534,279	391,867
仕掛品	2,232,871	1,788,937
貯蔵品	2,700	3,293
コンテンツ	283,260	890,186
繰延税金資産	1,575,921	1,507,150
その他	757,207	582,617
貸倒引当金	△2,861	△2,576
流動資産合計	10,448,382	12,537,691
固定資産		
有形固定資産	193,198	188,561
無形固定資産		
のれん	427,878	370,107
その他	154,889	149,605
無形固定資産合計	582,768	519,713
投資その他の資産	274,040	273,574
固定資産合計	1,050,008	981,849
資産合計	11,498,390	13,519,540

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	791,282	978,339
短期借入金	5,667,000	5,568,000
1年内返済予定の長期借入金	664,000	664,000
未払法人税等	142,911	787,112
その他	515,662	789,458
流動負債合計	7,780,857	8,786,910
固定負債		
長期借入金	174,000	340,000
退職給付引当金	28,715	27,213
その他	184,289	158,712
固定負債合計	387,004	525,925
負債合計	8,167,861	9,312,835
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,864	1,737,864
資本剰余金	1,620,200	1,620,200
利益剰余金	△2,325	915,093
自己株式	△5,010	△5,010
株主資本合計	3,350,728	4,268,147
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△73,447	△104,528
評価・換算差額等合計	△73,447	△104,528
新株予約権	53,247	43,085
純資産合計	3,330,528	4,206,705
負債純資産合計	11,498,390	13,519,540

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,889,089
売上原価	1,959,998
売上総損失(△)	△70,908
販売費及び一般管理費	1,022,177
営業損失(△)	△1,093,086
営業外収益	
受取利息	6,487
為替差益	251,232
その他	2,858
営業外収益合計	260,577
営業外費用	
支払利息	31,835
その他	2,918
営業外費用合計	34,754
経常損失(△)	△867,263
特別利益	
新株予約権戻入益	906
特別利益合計	906
特別損失	
固定資産売却損	296
特別損失合計	296
税金等調整前四半期純損失(△)	△866,653
法人税等	△8,383
少数株主利益	334
四半期純損失(△)	△858,605

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△866,653
減価償却費	25,397
のれん償却額	19,695
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,502
貸倒引当金の増減額(△は減少)	273
新株予約権戻入益	△906
受取利息及び受取配当金	△6,487
支払利息	31,835
為替差損益(△は益)	△230,400
有形固定資産売却損益(△は益)	296
売上債権の増減額(△は増加)	2,691,168
たな卸資産の増減額(△は増加)	44,928
前渡金の増減額(△は増加)	85,695
仕入債務の増減額(△は減少)	△227,943
未払金の増減額(△は減少)	△273,528
その他	△81,038
小計	1,213,834
利息及び配当金の受取額	6,324
利息の支払額	△19,337
法人税等の支払額	△894,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	
連結子会社の取得による支出	△36,464
有形固定資産の取得による支出	△12,529
無形固定資産の取得による支出	△8,484
貸付けによる支出	△22,000
貸付金の回収による収入	380
その他	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	99,000
長期借入金の返済による支出	△166,000
担保の提供による支出	△738
配当金の支払額	△51,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	126,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	234,916
現金及び現金同等物の期首残高	3,113,197
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,348,114

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	コンシューマ 事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,605,592	283,497	1,889,089	—	1,889,089
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,605,592	283,497	1,889,089	—	1,889,089
営業利益（又は営業損失）	(1,220,969)	201,936	(1,019,033)	(74,053)	(1,093,086)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	家庭用ゲームソフト等のパッケージソフト等
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,090,881	536,555	261,651	1,889,089	—	1,889,089
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	233,998	158,432	—	392,431	(392,431)	—
計	1,324,880	694,988	261,651	2,281,520	(392,431)	1,889,089
営業損失	128,683	725,583	119,715	973,981	(119,104)	1,093,086

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米：米国

(2) 欧州：英国、イタリア

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	557,304	209,145	86,829	853,280
II 連結売上高（千円）				1,889,089
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	29.5	11.1	4.6	45.2

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米：米国

(2) 欧州：英国、イタリア他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,174,146
II 売上原価	1,411,296
売上総利益	762,850
III 販売費及び一般管理費	725,377
営業利益	37,472
IV 営業外収益	105,544
V 営業外費用	20,367
経常利益	122,650
VI 特別利益	1,847
VII 特別損失	628
税金等調整前四半期純利益	123,869
税金費用	252,662
少数株主利益	231
四半期純損失(△)	△129,024

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	123,869
減価償却費	14,324
のれん償却額	11,458
退職給付引当金の増加額	2,105
貸倒引当金の減少額	△784
受取利息及び受取配当金	△5,271
支払利息	13,033
為替差益	△74,100
売上債権の減少額	358,792
たな卸資産の増加額	△786,084
前渡金の増加額	△35,864
仕入債務の増加額	235,654
未払金の増加額	77,827
その他	△54,137
小計	△119,175
利息及び配当金の受取額	5,289
利息の支払額	△12,847
法人税等の支払額	△693,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	△819,811
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
新規連結子会社の取得による支出	△289,971
有形固定資産の取得による支出	△13,199
無形固定資産の取得による支出	△9,394
貸付金の回収による収入	2,869
その他	2,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,216
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増額	424,000
長期借入金の返済による支出	△182,667
担保の提供による支出	△104,063
配当金の支払額	△10,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,490
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	75,809
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>	△924,727
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,694,551
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	1,769,823

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

	コンシューマ 事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,974,707	199,438	2,174,146	—	2,174,146
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,974,707	199,438	2,174,146	—	2,174,146
営業費用	2,009,486	58,491	2,067,978	68,695	2,136,673
営業利益（又は営業損失）	(34,779)	140,947	106,168	(68,695)	37,472

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	家庭用ゲームソフト等のパッケージソフト等
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は68,695千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,201,035	886,856	86,254	2,174,146	—	2,174,146
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	35,532	3,017	—	38,550	(38,550)	—
計	1,236,568	889,874	86,254	2,212,696	(38,550)	2,174,146
営業費用	915,854	1,055,208	148,009	2,119,072	17,600	2,136,673
営業利益（又は営業損失）	320,713	(165,333)	(61,755)	93,623	(56,150)	37,472

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米：米国

(2) 欧州：英国、イタリア

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は68,695千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	894,234	86,837	495	981,567
II 連結売上高（千円）				2,174,146
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	41.1	4.0	0.0	45.1

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米：米国
  - (2) 欧州：英国、イタリア他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。